

第11回 シンポジウム 関西のインフラ強化を進めるために — 西日本連携による観光、地域づくり戦略 —

開催報告

(一社)近畿建設協会

関西を日本のリーディングエリアとしていくために、それに必要なインフラ整備のあり方や仕組み等について、産官学の多くの有識者で方向性を議論し、実現に向けた構想などをとりまとめて広く発信していくため、平成29年4月に「関西のインフラ強化を進める会」を発足させました。この度、8月26日(金)にエル・おおさかにて、第11回シンポジウムを開催いたしましたので、ご報告します。

①実施日時

2022年8月26日(金)
13:30～17:00

②会場

エル・シアター
(エル・おおさか 2階)

③参加者

【会場】約230名

【オンライン】約280名(申込)



澤田氏



小林委員長



勝野氏



東井氏



仁田氏



渡邊氏

●NTT代表取締役会長の澤田氏による特別講演が行われた。澤田氏は、地域分散型社会の形成に向けたNTTの取組みについて説明し、リモートワークの推進が地方創生につながり、各地域が自立しながら連携することで持続可能な社会が実現できると強調した。

●続くパネルディスカッションでは、関西、四国、中国、九州からパネリストをお迎えし、「西日本連携による観光、地域づくり戦略」をテーマに、大阪・関西万博、観光資源の活用、広域観光連携などをキーワードとして各地域の特色ある観光地域づくりについて意見交換を行った。

勝野副知事は、徳島は関西、瀬戸内、四国それぞれの一員であるとし、歴史・文化、人という徳島の強みを生かした西日本連携の可能性について言及し、東井氏は、関西の地域をストーリーでつないだ周遊ルートや広域観光の提案について紹介した。

仁田氏は、瀬戸内海全体を1つのテーマパークにみたと、各地域のイベントや観光コンテンツをアトラクションとして有機的に結びつける構想について説明し、また、渡邊氏は、九州観光の魅力と価値を世界に発信する様々な取組みについて紹介した。

最後に小林委員長が、関西の地域がそれぞれの個性を発揮し、多様なアイデアで競争していくことが望ましい、また、メリットが望める場合は関西、西日本で連携していくことが重要であると締めくくった。

プログラム

14:00～	開会挨拶 谷本 光司 (近畿建設協会 理事長)
14:10～	特別講演 澤田 純氏 (日本電信電話株式会社 代表取締役会長) 「NTTの地域分散型社会形成への取組み」
14:50～	パネルディスカッション 「西日本連携による観光、地域づくり戦略」 コーディネーター 小林 潔司 氏 (関西のインフラ強化を進める会 委員長 京都大学経営管理大学院 特任教授/土木学会 元会長) パネリスト 勝野 美江 氏 (徳島県 副知事) 東井 芳隆 氏 (一般財団法人 関西観光本部 代表理事・専務理事) 仁田 一郎 氏 (瀬戸内海汽船株式会社 代表取締役社長) 渡邊 太志 氏 (JR九州エージェンシー株式会社 常務取締役・営業本部長 /一般社団法人 九州観光機構 エグゼクティブアドバイザー)
16:50～	閉会挨拶 吉津 洋一 (一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 近畿支部長)

【開催予告】 第12回シンポジウム
日時：2022年11月10日(木) 13:00～15:00
会場： インテックス大阪 6号館